

NO33 江戸時代の貨幣・金融

NO251 江戸時代の貨幣 2008 本試

- 幕府が銀座を開設し、丁銀・豆板銀を鑄造させた。
- 外国人が銀貨を日本に持ち込み、多量の金貨を海外へ持ち出した。
- 金貨の単位で表された銀貨が、はじめて鑄造された。

【近世 06 解答】 [1→3→2] 1. 銀座が開設されたのは、江戸時代初期(17世紀初頭)。3. 南鐮二朱銀のこと、田沼時代(18世紀後半)に鑄造された。2. 安政の五カ国条約締結後の貿易開始により、日本は欧米に比して金安・銀高だったため金が海外へ流出した。

NO252 鉱山開発と貿易 2008本試

16世紀から17世紀にかけては日本国内の各地で鉱山開発が進み、a：多くの銀が産出されるようになり、海外に輸出された。17世紀の半ばを過ぎるころには、銀の産出量は [ア] した。さらに、長崎へ来航する貿易船が増加したことも加わって、幕府は銀の輸出をしないで [イ] するようになった。

このような貿易をめぐる状況の変化を受けて、従来は輸入していた産物について日本国内での生産を進める政策が実施された。たとえば、b：対馬藩を通じて輸入していた朝鮮人参は、幕府が栽培を成功させ、諸藩にも栽培を奨励した。その結果、国内の需要にこたえるだけでなく、18世紀末以降、長崎を通じて中国に輸出されるまでになった。

空欄に入る語句の組合せとして正しいものを、次から一つ選べ。

1. アー増加 イー奨励
2. アー増加 イー制限
3. アー減少 イー奨励
4. アー減少 イー制限

正解→2

NO225 下線部 b に関連して述べた文として誤っているものを、次から一つ選べ。

1. 対馬藩は、己酉約条を結んで朝鮮貿易を独占した。
2. 対馬藩は、釜山に置かれた倭館に貿易船を派遣した。
3. 幕府は、株仲間を解散して朝鮮人参産座を設けさせた。
4. 幕府は、朝鮮人参とともに甘藷の普及にもつとめた。

答→3

満点のコツ 江戸時代の貨幣・金融

貨幣の鑄造…貨幣鑄造権は幕府が独占、金貨・銀貨・銭貨の三貨体制

金貨	小判・一分金など	銀座(後藤庄三郎)で鑄造	計数貨幣(両・分・朱)
銀貨	丁銀・豆板銀	銀座(大黒常是)で鑄造	秤量貨幣(貫・匁)
銭貨	一文銭(寛永通宝)	銭座で鑄造	計数貨幣(貫・文)

藩札 幕府の許可のもと、藩が発行した換金できない紙幣を**藩札**という。藩札はその藩内だけで通用し、三貨の不足や藩財政の窮乏を補うことを目的としていた。現存する最初の藩札は**福井藩**。

Pain is inevitable Suffering is optional

貨幣間の交換比率は 金 1 両 = 金 4 分 = 金 16 朱 = 銀 50 匁 = 銭 4 貫。相場により変動。

両替商

東日本では金(金遣い)、西日本では銀(銀遣い)が主に流通

→貨幣の両替や秤量などを商売とする→貨幣の流通を促進

そのうち金貨と銀貨を交換していたのが**本両替**(大坂の鴻池屋や江戸の三井)、金・銀貨と銭貨を交換していたのが**銭両替**である。

貨幣改鑄

将軍	名称	鑄造者	内容
家康①	慶長金銀	後藤徳乗	幕府が最初に鑄造した貨幣
綱吉⑤	元禄金銀	荻原重秀	金銀の品質を下げた 悪貨 。これにより幕府は莫大な 出目 を得るがインフレを引き起こす。
家継⑦	正徳金銀	新井白石	慶長金銀と全く同じ質だが量が少ない。
吉宗⑧	元文金銀	吉宗	米価引き上げのための悪貨だったが、インフレを引き起こす。
	南鐮二朱銀	田沼意次	金貨の単位で表された銀貨(二朱の価値を持つ銀貨で8枚で金一両。計数貨幣)。
家茂⑭	万延小判		金銀比価の違いから金の海外流出を防止するとともに比価調整のため(当時欧米の金銀比価=1: 15 に対し日本=1: 5)

満点のコツ 市場と商人

①市場 青物市→江戸⇒**神田** 魚市→江戸⇒**日本橋**
大坂⇒**天満** 大坂⇒**雑喉場**

②商人 三井高利(松坂) →江戸に出て呉服屋**越後屋**開業
住友友芳(大坂) →1691年伊予**別子銅山**開業、札差業も
淀屋辰五郎(大坂) →奢侈のため全財産没収
紀伊国屋文左衛門(紀伊) →みかん・材木で巨富
奈良屋茂左衛門(江戸) →材木商、初代は日光東照宮修理で巨富
鴻池宗利(大坂) →海運・両替・掛屋・新田開発(鴻池新田)で巨富

NO226 豪商 2007 本試

1622年に伊勢国松坂で生まれた [ウ] は、はじめ兄が江戸で営んでいた呉服店で働いて経験を積み、後に松坂に戻って金融業を中心にして富を蓄積した。

1673年に彼は江戸で越後屋呉服店を開業すると、息子たちをその経営に当たさせた。一方、高級織物の産地であった [エ] には仕入れ店を設けて、c:江戸店に供給する呉服を確保した。

彼は越後屋の開業にあたって「現金(銀)掛け値無し」という経営方針を打ち立てた。当時としては画期的なこの商法は人々に歓迎され、越後屋は大きく発展した。さらに三都に両替店も展開し、後に大財閥に発展する一族の基礎を築いた彼は、1694年にその生涯を閉じた。

問1 空欄に入る語句の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

1. ウー三井高利 エー京都
2. ウー三井高利 エー大坂
3. ウー鴻池善右衛門 エー京都
4. ウー鴻池善右衛門 エー大坂

正解→三井高利と高級織物は、京都・西陣で1が正解。

NO227 近世商人の活動 2004追試

近世、商人の活動の活動について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 堺の商人茶屋四郎次郎は、海外貿易で活躍した。
- ② 江戸では、二十四組問屋が仲間として公認された。
- ③ 農村では、商品生産の発達につれて在郷商人の活動が活発になった。
- ④ 都市商人の資本による新田開発は、幕府によって禁じられた。

正解→茶屋四郎次郎は京都の豪商で朱印船貿易家だから①は✖、大坂が二十四組問屋で②も✖、新田開発は町人だから③も✖、正解→④

NO228 江戸時代の農民の家や暮らし 2006本試験

江戸時代の農民の家や暮らしに関して述べた文X～Zについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下から一つ選べ。

- X 田畑の相続にあたって、分割相続が奨励された。
Y 離縁状（三下り半・三行半）は、再婚を許可する役割も果たした。
Z 信仰のための組織として、庚申講などがつくられた。

- (1) X正 Y正 Z誤
- (2) X正 Y誤 Z誤
- (3) X誤 Y正 Z正
- (4) X誤 Y誤 Z正

正解→X、単独相続が奨励で✖、離縁は男の側からのみできる制度で、以後再婚は可能であった。共同体意識と連なる信仰のための集まりには、日の出を待つ日待、月の出を待つ月待、招福除災のための庚申講などがあった。

STEP2 私大対策

幕藩体制下の商業の発達

年貢米や専売品など、(1**蔵物**)と呼ばれた大名の商品は、江戸や大坂のa**蔵屋敷**に運ばれて販売された。物資の流通を担ったのはb**海や川に就航した船**で、西国や北陸・奥羽の物資は(2**西廻り**)航路で大坂へ、関東や東北の物資は(3**東廻り**)航路で江戸に集積された。上方での余剰はc**南海路を経て江戸に廻送され**、このd**荷積みと荷受けのための組合**が結成された。また、旗本・御家人の蔵米は浅草御蔵で支給され、(4**札差**)という業者で換金さ

れた。なお、幕府は当初はe**商工業者の組合結成**を認めていなかったが、商業統制のために許可し、(5**冥加**) (6**運上**)という一種の税を課した。

陸上交通は大名の(7**参観交代**)の便宜のために整備され、f**五街道**などには宿場が設置された。

貨幣制度は三貨制と呼ばれ、幕府の(8**座**)で鑄造されたg**金銀錢が流通した**。異なる通貨の流通にはh**両替商**が必要となった。

<設問>

- a 販売と国元送金を扱った商人名をそれぞれ記せ。**蔵元、掛屋**
- b 全国の海上航路を整備した者、保津川や富士川、高瀬川を整備した者の名を記せ。**河村瑞軒、角倉了以**
- c この航路に就役した廻船を2つ記せ。**菱垣廻船、樽廻船**
- d それぞれの組合の名称を記せ。二十四組問屋、十組問屋
- e この組合を何と呼んだか。**株仲間**
- f 街道に設置され、「入り鉄砲に出入」を取り締った施設は何か。**関所**
- g 代表的な金貨と銀貨の形態にはどのようなものがあったか。**小判、丁銀、豆板銀**
- h 「現金掛値なし」の商法で呉服屋を営み、両替商に転じた大商人は誰か。**三井**